



合志市と県政の架け橋として

熊本県議会に送り出して頂き、早や二年が過ぎました。当初は、右往左往の一年でありましたが、機会があるごとに、多くの委員会、部会、県外の議連などに出席し、各議員の働きに耳を傾けたものです。

二年目はまさにコロナ対策に追われました。いまだに終息が見えない現状に危惧し、多くの経済に影響を与えるものと思われま

す。又、7月には県北・県南の豪雨災害があり、いまだ熊本地震の残像が残る中、

熊本はトリプルパンチに遭いました。幸いにも合志市には大きな被害はありませんでしたが、

何時災害に遭遇するかわかりません。「備えあれば憂いなし」

この言葉を肝に銘じて議員活動に努めて参ります。3月定例会に2度目の一般質問の場を頂き

多岐にわたり執行部に問うことが出来ましたことを裏面にて御報告致します。

末筆ながら、皆様方のご健康とご多幸をお祈り更には、たくさんのご意見を頂きますようお願いいたします。

令和三年五月

熊本県議会議員 池永 幸生

楓の森小中学校開校



落成式式典

池永ゆきお 主な役職

- 熊本県議会議員(自由民主党)
- 合志市商工会会長
- (株)こうし未来研究所 取締役
- 熊本県隊友会特別会員
- 合志物産販売(株)志来菜彩 代表取締役

【趣味】料理・バナナのたたき売り

令和3年度4月 補正予算総額 8732億円の概要

ひとり親世帯向け

1 子育て世帯生活支援特別給付金

児童一人当たり 5万円の特別給付金支給
コロナウイルス感染症の長期化による収入減少での子育て困難なひとり親世帯のため

個人向け貸付

2 緊急小口資金等の特別貸付

コロナウイルス感染症の影響による休業などを理由に一時的な資金が必要な個人向けの貸付

3 地域観光事業支援 ～ 熊本の魅力を再発見

県内の宿泊・日帰り旅行がお得!!
宿泊サービス等の割引やクーポン券の発行

4 外国人材受け入れ事業者への支援

外国人材入国の際、事業者が追加的に負担する経費助成

★いずれも詳しくは県のホームページで確認してください。



厚生委員会に所属して

池永 幸生

令和3年度の委員会に主要事業、及び新規事業の説明がありました。管轄は健康福祉部及び病院局であります。

全体で12課あり福祉政策、高齢化支援、社会福祉、子供未来や子供家庭福祉、障害者支援、国保、健康作り推進、業務衛生、病院局など多岐に亘ります。三千七百六十四億余の予算が組まれ、県民の皆様の健康作り、福祉にまた、子供たちの為に予算が組まれ執行されます。令和3年度の特徴として新型コロナウイルス対策が発表されています。

感染症に対応した心のケア支援、保健師の確保、コロナウイルス感染症患者等、入院病床確保事業へと予算化されました。新たに新型コロナウイルス感染症の影響により増加した生活困窮者からの相談に対応する為に、相談支援機関等のセーフティネット強化事業も始まりました。



幸友会 会長 宮原 康晃

皆さんお変わりございませんでしょうか

時の流れだけは コロナ禍にも負けず淡々と過ぎ 早や四月 令和三年度がスタートしました 県内各地でもコロナ対策をしての入社式 入学式 入園式も終わりました それぞれの人生の節目の門出に「おめでとう がんばれよ」の言葉を心よりお送りします

さて 私も池永幸生県会議員の後援会のお世話役として二年目を迎えました その間 機会あるごとに議員に同行し諸会合の様子を見聞させていただきました その様な中で特に感じたことは 本人自らの健脚を活かし地域の皆さんとの会話を大切に とにかく良く動かれる 良く話を聞かれる そして共に考える と言った姿勢に強く感動しました 今後とも議員が活動しやすい環境づくりに努めていきたいと思っております 皆様のご協力を宜しくお願い致します

事務局より



事務局長 阿部 博

昨年十月より事務局長を務めさせて頂いています 阿部 博 と申します。不行き届きな点も多いかと思えますが宜しくお願い致します。

新事務所のご案内



<https://www.ikenagayukio.info>



池永幸生 県議会議員 一般質問

児童生徒の 重たいカバンの解消を

議会において、児童生徒の

カバンの重さの問題について質問しました。重さで体形に変調をきたす例も見受けられる等の症例もみられる。体格が良い子どもにとっては何ともなくても、子どもの体格は様々です。調査を行い、把握して対策を練り、軽量化を図ることが出来ないか。9割の子供達が負担と感じる過重量のカバン、体重の10〜15%が適正な重さといわれています。

具体的な手法として「置き勉」があると思われず。学校に教科書を置くことで軽減を図る。

具体的な対応は各学校、自治体教育委員会に一任されていますが、委員会によっては禁止、没収がなされるなどの規制など、判断や実態に差があるようです。

見た、聞いた、考えた！

ある自治体では置き勉をルー

ル化、教育長名で思い切った提案」がなされ、中学校で30%の改善がなされたとの記載があった。タブレットの導入も始まる中で、県の教育委員会として、この問題の解消に向けてどう指導されるかを伺います。

（教育長）教科書等の児童

生徒の携行品が過重となることで、身体の健やかな発達への影響が生じかねない懸念がある。



カバン軽量化への取組み

児童生徒の携行品に係る工夫例を示し、各学校や地域の実態に応じ適切に対応するよう、令和2年4月に通知した。携行品について配慮するよう改めて通知を行うとともに、軽量化に向けた好事例を紹介していききたい。市町村教育委員会と連携し対応していききたい。

民生・児童委員の現状

（健康福祉部長）

県では5年前の熊本地震、昨年の7月豪雨、コロナ禍と度々の災害に見舞われている。その際の民生委員児童委員の方々はご苦労を掛けていらっしゃる。ご年配や障害を持った方々を充分に把握され、又マップも作成されていると聞きます。自分の時間を人の為、社会の為に費やし、そして責任の重さを考えれば、頭の下が



議会での一般質問

（健康福祉部長） ①現在、16

市町村で欠員が生じている。②市町村に対して行った民生委員・児童委員制度に関する調査では、住民のニーズや福祉制度が複雑多様化し負担が大きくなっている。活動に対する住民の理解が十分でないことなどが課題として挙げられた。③成り手不足の解消にはこれらの課題を解決する必要がある。住民

合志市に九州全体の 防災拠点を！！

（知事公室長）

昨年7月に県南を襲った豪雨は多くの災害を我が県に残しました。人命を奪い、想像を絶する洪水破壊を目の当たりにした時、人間の無力さを痛感、只々茫然とするばかりでした。被害に遭われた当事者はこれらの生活基盤をどのように回復されるのか、どのように暮らしていかれるのか等々、心配と不安に満ちた眼差しを感じました。

異常気象と言われる中、いつ想定外の事態が起こってもおかしく

に向けた検討を進める。具体的には、九州の縦軸・横軸に沿った物資集積や部隊集結・活動のための施設の追加確保、水・食料・医薬品等のリソース調査等に取り組む。また、新たな機能の検討にも着手したい。

大渋滞の解消へ！！ セミコンテクノパーク 周辺への取組

（土木部長）

新型コロナウイルス感染症の影響により経済は停滞し県内の商工業者は様々な経営困難に陥っている。県では緊急事態宣言が発令され協力した事業者を支援した。一方で働き方が見直された機会でもあった。テレワークやオンライン会議など職場に行かなくても意思疎通できる形態が日常に取り入れられた。この事は



球磨災害ボランティア活動中の池永議員



黒石防災拠点センター

ありませぬ。熊本県は地理的にも九州のヘンの位置にあり、交通の要となる地域でもあります。例えば合志市には縦軸として九州自動車道の北熊本ICがあり、横軸が計画されている中九州横断道路にも2つのIC出来る間いている。熊本地震の際には県農業公園を自衛隊の救助、救援部隊のベースキャンプ地として利用されました。ヘリコプターの訓練も出来る自衛隊の演習場や医療施設も有効利用出来ると思われず。

県では合志市のように九州全体を見渡した時に、縦軸横軸の重要な地点となりうるポテンシャルを有する地を利用する事で、九州全体の安心安全に繋ぎ、「九州を支える広域防災拠点構想」の柱となるものと思えますが、知事公室長にお尋ねします。

（知事公室長）

合志市においては、県農業公園や合志市総合運動公園、中央運動公園を部隊集結・活動のための施設として確保した。今後の取組については、

来年度、広域防災拠点の機能強化

立地企業の経済活動を継続してもらう為にも、県道大津・西合志線、国道387号の渋滞対策について県の考えをお伺いします。

小規模事業者へ与える コロナの現状と支援策 について

（商工労働部長）

影響を及ぼし始めた昨昨年3月末から2カ月毎に会員事業者の売上等の調査分析を開始されている。それを元に各種支援策の創設や充実に繋がっていると思う。県では中小企業診断士や社会保険労務士などの専門家を派遣する予算を戴いた。不安を抱える事業者にとって気が楽になり希望が持てたとの感謝の声が寄せられた。

調査で昨年5月末を底に11月末までは回復傾向にあったが、その後第3波とも言われる感染が爆発的に拡大。GoToトラベルの停止など外出自粛等厳しい状況であった。今後持続化給付金の再交付や事業継続支援金や業態転換支援補助金等に期待するものです。

この様な調査結果を県はどのように受け止めておられるのか、そして支援方針、又支援の最前線にある商工労働部長にお尋ねします。

（商工労働部長） ①県商工会連合会の独自調査は、事業者の現状を知る貴重な情報であり、

県道大津・西合志線・387号線の渋滞解消を

「みんなの居場所」オープン！！

須屋駅前に住民の集いの場として4月14日に開所しました。交流スペースやセミナー会場として活用する他、相続や子育て世帯の住まい探しなどの相談窓口も設置し、多世代が気軽に立ち寄れる場所を目指します。

営業時間/月曜～金曜 午前10時～15時



「多くの人が楽しんで利用して欲しい」と挨拶する池永議員

